

臨床実習	高齢者歯科学
------	--------

[実習] 第5学年 前後期 必修

《担当者名》○教授／飯田 貴俊 tiida@ 教授／會田 英紀 aita@ 教授／越野 寿 koshino@
 准教授／豊下 祥史 toyosita@ 准教授／川西 克弥 kawanisi@ 助教／煙山 修平 shuhei-0912@
 助教／合羅 佳奈子 助教／菅 悠希 kanyuuki@助教／高田 紗理 stakada@ 助教／横関 健治 yokozeki@
 任期制助手／藤丸 果乃 kano-maru7@ 任期制助手／成田 幸平 kohei-n@

【概要】

シミュレーション実習では、義歯の管理及び清掃方法について学ぶ。栄養指導の相互実習では、昨今、問題になっている高齢者の「フレイル」、「サルコペニア」についてより理解を深める。診療参加型臨床実習では、さらに、有病高齢者に対する歯科の対応（歯科訪問診療、摂食・嚥下訓練、口腔ケア、義歯ケアなど）について、実際の現場やより実践に近い環境下において学修し、超高齢社会、及び多職種連携等に対応できる歯科医師としての役割を認識する。

【学修目標】

口腔機能低下症について検査法、検査結果の解釈について実施する。
 口腔ケアについて方法、目的を説明する。
 義歯ケアについて方法、目的を説明する。
 栄養評価として高齢者の栄養評価と栄養管理について実施する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	相互実習 ・口腔機能低下症 ・栄養指導	- 口腔機能低下症の7項目の検査方法、検査結果の解釈について理解する。 - 高齢者の栄養評価と栄養管理及び指導について理解する。	飯田 貴俊、會田 英紀、 越野 寿、豊下 祥史、 川西 克弥、煙山 修平、 合羅 佳奈子、菅 悠希、 高田 紗理、横関 健治、 藤丸 果乃、成田 幸平
	シミュレーション実習 ・義歯ケア、口腔ケア実習 診療参加型臨床実習	- 高齢者の口腔内を模した本学オリジナル顎模型を使用して、義歯ケア、口腔ケアの方法、目的を理解する。 - 高齢者、有病者、障害者に対する診察やコミュニケーション能力を学ぶ。	飯田 貴俊、會田 英紀、 越野 寿、豊下 祥史、 川西 克弥、煙山 修平、 合羅 佳奈子、菅 悠希、 高田 紗理、横関 健治、 藤丸 果乃、成田 幸平
	臨床推論 臨床フィードバック講義	高齢者歯科治療に関する臨床推論ならびに臨床フィードバック講義を行い、高い臨床能力が求められる症例を補完するとともに臨床推論能力を高める。 G-1-1)、G-2)	飯田 貴俊、會田 英紀、 越野 寿、豊下 祥史、 川西 克弥、煙山 修平、 菅 悠希、高田 紗理、 合羅 佳奈子、 横関 健治、藤丸 果乃、 成田 幸平

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

臨床実習 で課せられた課題とケース数の総合評価（ミニマムリクワイアメントは別途提示）とする。

【教科書】

よくわかる高齢者歯科学 第2版 永末書店 佐藤裕二、植田耕一郎、菊谷 武 編 2023年

【参考書】

老年歯科医学 第2版 医歯薬出版 森戸 光彦、山根 源之、桜井 薫、羽村 章、下山 和弘、柿木 保明 編 2022年
 病院・施設・在宅で役立つ！基礎からわかる口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーションQ&A57 メディカ出版 廣瀬知二 著 2021年

【学修の準備】

予習として、該当する項目について『高齢者・障害者歯科学』の講義内容を復習しておく（50分）
 復習は、教科書、プリントなどを活用し、理解を深める（50分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

DP 4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。（多職種連携能力）

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。（社会における医療の役割の理解）

【実務経験】

飯田貴俊（歯科医師）、會田英紀（歯科医師）、越野 寿（歯科医師）、豊下祥史（歯科医師）、川西克弥（歯科医師）、煙山修平（歯科医師）、合羅佳奈子（歯科医師）、菅 悠希（歯科医師）、高田紗理（歯科医師）、横関健治（歯科医師）、藤丸果乃（歯科医師）、成田 幸平（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床実習 において、有病者・高齢者患者に対して十分な実務経験のある歯科医師が担当している。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している